

ベトナムの交通事情

亀田 茂登

ベトナムの道路の主役はバイク、しかも高収入の人しか持てないバイク、それだけに彼らのステータスであるはずなのに、交通ルールがあっても守らないのが当たり前、信号無視、逆走、譲り合いなし、「俺が先に通過するぞ」と言わんばかりの強引な割り込み。バイクメーカーは日本製が主力だが、中にトヨタバイクがあったのには驚いた。ガイドに聞いたら中国のニセモノと聞き、中国は何でもありか。街中はクラクションで鳴り響きうるさい。道路は舗装されているが、補修されておらず街中はこりだらけ。

バスは、右側通行なので左ハンドルのせいか韓国の現代がほとんど。市内の狭い道でも追い越し、信号無視はもちろん対向車が向かってきている対向車線を走ることも当たり前。我々の観光バスも同様でしかもスピードメーターは壊れていた。

ジェトロハノイセンター長によれば、右肩上がりの景気は10年は続くとのこと、経済成長にインフラ整備が追い付いていない現状で、今後インフラ整備がなされ交通マナーも改善されることを期待し、10年後に機会があれば変わり程度を確認したい。



まじめにベトナム視察報告

狩野 牧人

まず、ベトナム(ハノイ)に着いて最初に感じたことは、バイクの多い事と自動車のクラクションのうるさい事です。道路には若者の乗ったバイクがあふれ、我々の乗ったバスがバイクを掻き分けて進むといった感じです。ノーヘル二人乗りは普通に3人乗りも見かけました。現地の交通ルールでは、追い越しをかければ対向車がちゃんと路肩によけるし、交差点は進んだもの勝ちで、日本では通用しないローカルルールが有るみたいです。

次に感じた事は、若者の多い事です。道端の露天のようなところに座り込んで鍋を囲んでいる様子は、街のあちこちで集団コンパをしているみたいで活気にあふれた印象を持ちました。日本の平均年齢が約42歳に比べ、ベトナムは約24歳と聞けば納得です。



ベトナムの実質GDP成長率は、昨年6%を超え、リーマンショックの本年予想でさえ5%を超える勢いです。これは、アジア主要諸国の中で中国に次ぐ成長率で日本企業にとっても魅力的な投資国だと思います。すでにハノイ近郊にはホンダ、トヨタ、キャノン等が進出しているそうですが、平均的な人件費は月給で50米ドル位、管理職でも400米ドル位だそうです。キャノンの工場を車中より見ましたが、2,000台を超えと思われるバイクが駐車していました。すごい人数が働いているなと思うと同時に、バイクばかりなので駐車スペースは少なくすむと思ってしまいました。

ベトナムは実質的な市場経済政策に踏み切り、10年ほど前にASEANにも加盟し、政治的にも安定しています。見た目の生活は、まだまだ、発展途上の国ですが勤勉で豊富な労働力があり親日的で、とても魅力的な国と感じました。ただ、8,000万人の人口がいますが、ベトナム国内の消費は難しく生産し輸出するという形になると思います。それと基本的には社会主義国ですのでその点にご注意を！

最後になりますが、ベトナム概況を講演して下さったジェトロハノイセンターの皆様ありがとうございました。そして、滞在中のすべてのお酒を振舞って頂きました徳永支部長、ご馳走様でした。



ベトナム研修旅行 感想

村上 博志

年の瀬も迫った、11月26日から4日間会社を空ける事は、食品業界に身を置くものとして、かなり勇気の要ることです。

しかし、敢えて参加したのは

- 1、台湾 基隆 観光があること
- 2、ハロン湾 観光があること

この二つの関心事が、心を揺さぶりました。

1、基隆 は亡き父が若かりし頃、台北帝大医科に進み、故郷九州小倉を船で出て基隆に到着し、台湾での青春時代を過ごした事を子供の頃に聞かされてきました。キールンというカタカナのひびきが耳に残っていました。父が立った場所に70年振りに訪れ、感慨深いものがありました。

2、ハロン湾 は世界遺産として特に有名で、チャンスがあれば是非訪れたい地でした。

ハノイから3時間半、恐怖のバスにゆられ到着すると、そこはまるで香港の船着場の賑いで、欧米人、日本人が多く訪れていました。

クルーズ船に乗り込み、素晴らしい景色を堪能しました。途中、生簀に立ち寄りなんと、日本の天然記念物 カブトガニを捌いて、料理して食べてしまうハプニングもありました。

J E T R Oハノイセンターでの研修は、守部所長の分かり易い説明でハノイの現況がよく理解できました。高校卒 初任給 100\$ オートバイは 1000\$という物価です。

ベトナム人は 親日的 楽観的性格 儒教的家族 勤勉 という事で、日本人とはよく合う人種だと思いました。但し、交通マナーがとても悪く、街中 クラクションが鳴り続けており、信号無視や割り込みは当たり前で、よく事故が起きないなど不思議でした。

殆ど、美味しい物を食べ、素晴らしい景色を見るだけの3泊4日のツアーでしたが、異文化に触れることができ、とても楽しい旅でした。徳永支部長の武勇伝を目の当たりにすることもでき、5星メリアハノイホテルの天井が落ちるといふハプニングもありましたが、中島総務部会長の素晴らしい設営で、皆さん満足のいく研修旅行でした。

お世話になった方々に感謝いたします。



左：カブトガニの解体。
右写真←はその料理

